

新聖歌148番

夕べ雲焼くる

1

夕べ雲焼くる

空を見れば

主の来たり給う

日のしのぼる



新聖歌148番

夕べ雲焼くる

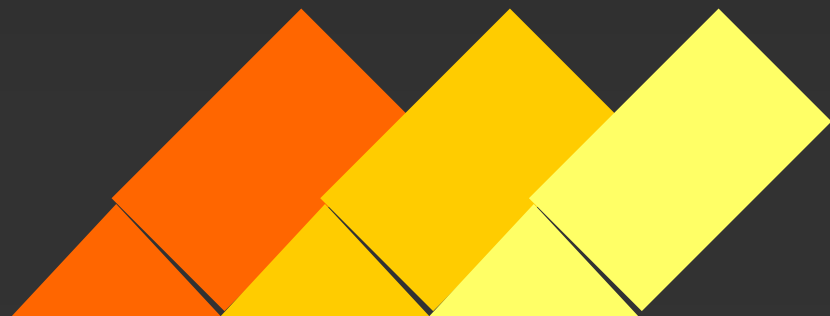
折り返し

ああ神の前に

われ勤しまん

業終むる時の

間近き今



新聖歌148番

夕べ雲焼くる

2

灯火掲げよ

主の乙女ら

「花婿ぞ」と言う

声聞きなば



新聖歌148番

夕べ雲焼くる

折り返し

ああ神の前に

われ勤しまん

業終(や)むる時の

間近き今



3

その日をば待てる

われらなれば

悩みも涙も

など避くべき

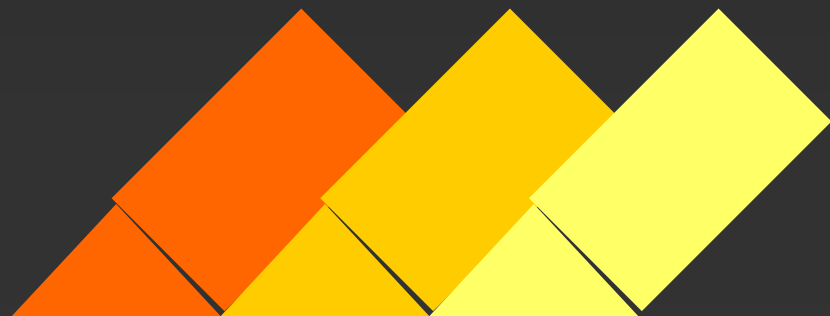


新聖歌148番

夕べ雲焼くる

折り返し

ああ神の前に
われ勤しまん
業終むる時の
間近き今



4

嘆きも涙も

天(あめ)にはなし

み使いの歌う

声聞くのみ



新聖歌148番

夕べ雲焼くる

折り返し

ああ神の前に

われ勤しまん

業終むる時の

間近き今

アーメン

